



柏市歩こう会

設立 昭和56年5月
会長 大學 敏子
事務局 柏市布施 908-4
TEL 04-7131-3772

1月例会予定

大河ドラマ「べらぼう」 蔦屋重三郎・江戸史跡巡り

期 日：2026年1月11日（日）JR柏駅 7時50分集合（小雨決行）（8km）
交 通：JR柏駅～北千住駅乗換え～東武浅草駅北口（620円）
参加費：参加票と300円（保険代等）を納入して下さい。弁当持参、入館料
コース：浅草駅北口～花川戸公園～待乳山聖天（毘沙門天）～正法寺（重三郎菩提寺）
～吉原大門～江戸新耕書堂～吉原神社（弁財天）～一葉記念館（300円）
～鳶神社（寿老人）～浅草寺（大黒天）～大河ドラマ館（解散後800円）

* 蔦屋重三郎が生きた時代「面白え！を追い求めた時代の寵児

寛延3年(1750)1月7日吉原で誕生。10代将軍徳川家治、11代将軍徳川家斉の世で、青年期は老中田沼意次の重商主義政策で、江戸経済が発展した時代です。喜多川家の養子となり吉原大門口、朋誠堂喜三二や絵師の喜多川歌麿、葛飾北斎などと共に、次代を代表する若くして才能を残した重三郎は、人情に厚く仲間のために生き、出版業に乗り出し、寛政9年5月6日に他界しました。耕書堂は文久元年(1861)4代目他界により廃業となりました。

* 樋口一葉：明治5年（1872）生まれ。明治20年代に活躍した、職業女性作家（たけくらべ・にぎりえ）、下谷龍泉寺町で荒物・雑貨と駄菓子を売る店を始め、翌年転居し、明治29年（1896）肺結核により他界しました

* 解散後のおみやげ「最中・どらやき」は浅草寺雷門近く！



☆ホームページ「柏市歩こう会」検索でご覧になれます。

新
コース

話題の鳶屋重三郎に 思いを馳せる街歩き



約8km

吉原の出入口 吉原大門 五十間道

吉原は、約270m×約360mの広さで、足抜け防止から高い塀とお歯黒どぶという堀で囲まれていた。出入口は「吉原大門」のみ。吉原大門前の道は、長さが50間(約90m)あったことから「五十間道」と呼ばれ、鳶屋の本屋「耕書堂」もこの通り沿いにあった。

◆台東区千束四丁目付近



コース紹介

大河ドラマ「べらぼう」の舞台になった「吉原」と、主人公の「鳶屋重三郎」(江戸の出版王・浮世絵の版元)の墓所やゆかりの史跡を巡ります。

モデルコースのご紹介です。コースに矢印・案内スタッフは配置していません。地図を確認し、街並みや自然をお楽しみください。

台東区のグルメ どじょう鍋

塩分控えめ・甘味が強い江戸味噌でどじょうを煮込む「どじょう鍋」「どじょう汁」は、古くからの庶民の味。江戸時代中期、浅草寺への参詣道が通る浅草駒形には、どじょう料理を振る舞う店が何件もあり、参詣客や吉原帰りの人々で賑わった。



吉原の“守り神”

吉原神社

吉原にあった榎本稻荷、明石稻荷、開運稻荷、九郎助稻荷と、五十間道にあった吉徳稻荷の5社が合祀。昭和9(1934)年からは、遊郭に隣接していた吉原弁財天も一緒にまつられている。健康や商繁盛の願掛けなど吉原の女性たちから信仰を集めた。



浅草寺のとなりに一時解散、WC有り
大河ドラマ館へ入館
希望の方には御案内致します。入館料は、800円とあります。明日不終了とあります。

スタート・花川戸公園
東武浅草駅(北口下車)
花川戸公園(鞆丸.WC)

今年どうぞよろしくお祈り致します。
「歩み続ける事が続ければ」役員一同